

令和3年度参加者の声

- 様々な業種の方々からの色々な観点を得ることができ、非常に勉強になりました。
- みなさん快く接していただき、かつ、アドバイスやフォローも頂けて、非常に収穫のある講座でした。
- 自分一人では到底考えつかないアイデア、思考、意見が他のメンバーから出てくるので、ワークも比較的前に進んで行っている感がありました。また、アドバイザーのフォローもすごく良く、ワーク自体も非常に楽しく進めることができ良かったと思います。



グループワーク活動の様子



グループ討議で出たアイデアを全員に共有

募集概要

プログラム名称	備後地域次世代ビジネスリーダー養成講座 (文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)認定履修証明プログラム)
募集人数	20名(最少催行人数:15名)
開催場所	講義編:オンライン(Zoom) プロジェクト編:まなびの館ローズコム(福山市霞町1丁目10-1) 備後地域地場産業振興センター(福山市東深津町3丁目2-13)
受講条件	オンライン授業において、以下の①~③のすべてが別途必要となります。 ①自宅(等)での学修環境 ②インターネット環境 ③PC/タブレット等端末
受講資格	以下の①及び②の条件を満たす者 ①高等学校を卒業した者またはこれと同等以上の学力を有する者 ②社会経験を有する者(とりわけ、備後地域において)
修了認定	プログラム修了者には履修証明書を交付します。 修了要件:60時間(※)の履修及びグループに対する貢献度、プレゼンテーション(報告会)の内容等から総合的に判断します。(※欠席者にはメイクアップ対応あり)
申込方法	1) 以下リンク先(講座のホームページ)から申込フォームに入力ください。 https://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/events/archives/8752 2) 申込フォーム入力後、ご案内の必要書類を本学宛に郵送してください。 必要書類の本学への到着をもって受講申込を受理します。
申込締切	令和4年9月26日(月) ※消印有効
受講決定	提出していただいた志望理由等に基づき書類審査を行います。通過者の方には、受講の案内および受講料の振込方法等を連絡させていただきます。
受講料	132,000円(税込)【全20回・計60時間】 (1日単位の受講はできません。納入後の受講料は、いかなる理由においても返還しません)
教育訓練給付制度	本プログラムは、厚生労働省の教育訓練給付制度の「特定一般教育訓練」に指定申請中です。指定を受けた場合、別途ホームページで申請の手順や注意事項等を案内します。(7月下旬~8月上旬を予定) なお、申請窓口は最寄りのハローワークとなり、プログラム受講開始の1ヶ月前までに支給申請手続きが必要となりますので、ご注意ください。
個人情報の取り扱い	申込及び受講にあたりご提供頂いた個人情報は、本講座の運営及び県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)・福山市・備後地域地場産業振興センターの事業に関すること以外の目的には使用しません。

問合せ先・
書類郵送先

県立広島大学本部事務部 HBMSマネジメント課
〒734-8558 広島市南区宇品東1丁目1-71
TEL 082-251-9726(直通) E-mail mba-office@pu-hiroshima.ac.jp

備後地域 次世代ビジネス リーダー

養成講座

2022

主催



県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)

協力



「新しいビジネスの型」を目指す備後モデル

HBMSとは

「Hiroshima Business and Management School」の略。平成28年に開設した中国地方唯一のMBA(経営修士【専門職】)が取得できる経営系専門職大学院。社会人が働きながら学べるMBAプログラムとして平日夜間、土曜及び夏季休業期間に授業を開講。広島県を中心とした地域の課題・分野(中小企業、医療・介護福祉等のヘルスケア、農林水産業等の地域資源等)のビジネスリーダーを養成。

講座の目的

この講座は、激変するビジネス環境の中、イノベーションの実現に向け、アントレプレナーシップの観点から「新たなビジネスの型」をつくることを目的とした、備後地域における次世代のビジネスリーダーを養成するための経営人材育成プログラムです。将来的にはこれらの型が集積、システムとなることで、「備後モデル」の構築を目指します。

講座を通じて得られること

- 様々な分野を専門とするビジネススクール講師による最新の経営実学知識
- 事業計画立案のための市場環境分析や計画策定のためのフレームワーク・スキル
- 講師・受講者同士によるディスカッションによる事業創発のためのアイデア・ヒント
- 備後の地域を経営や事業開発の観点から盛り上げていくための人的ネットワーク

講義編 | 戦略的分析アプローチ

オンライン開催

日程	講義テーマ	講義内容	講師名
1 10/4(火) 19:00～21:40	ビジネス環境の変化とこれからの経営戦略	ビジネス環境が劇的に変化する中で、今後とっていくべき経営戦略とはどのようなものか。事業を成長させていくための経営戦略について様々な事例を通して学ぶ。	山梨 広一
2 10/11(火) 19:00～21:40	経営のリスク管理	グローバル化が進展する中で経営におけるリスク管理の対象は多様化しており、複雑化している。企業経営にとってのリスク管理のポイントは何かを考える。	七田 良彦
3 10/18(火) 19:00～21:40	マーケティングの基礎と中小企業における論点	マーケティングの基礎を学び、ニーズとは何かを理解し、新しい顧客や市場創造するための考え方について学ぶ。	江戸 克栄
4 10/25(火) 19:00～21:40	IoT情報技術とシステム管理	ICTやIoTが飛躍的に進歩する中で、どのように対応していくべきなのか。これからの企業の情報システムのあるべき姿とその管理について考える。	土本 康生
5 11/1(火) 19:00～21:40	事業ファイナンス	アカウンティングとファイナンスの関係と基礎知識について概説する。数字の観点からビジネス課題や問題点を考察し、企業の財務上の意思決定方法を検討する。	高橋 陽二
6 11/8(火) 19:00～21:40	新規事業開発と新しいビジネスモデル	既存事業の成長戦略を考えるとともに、新規事業開発を通じて新しいビジネスモデルを実現するために、様々な事例に基づいて考察する。	井上 智央
7 11/14(月) 19:00～21:40	新しい仕組みづくりとしてのサプライチェーンマネジメント	サプライチェーンマネジメント(SCM)の本質とは何か。バリューチェーン、カスタマーリレーションシップを軸にした生産、物流、販売の仕組みについて考える。	毛利 信作
8 11/22(火) 19:00～21:40	データ・アナリシス(1)	ビジネスにおける意思決定の精度を高めるデータの活用・ビジネス統計、及び、統計学とデータ分析の基礎(データの見方基本統計量、代表値など)について学ぶ。	菅 由紀子
9 11/29(火) 19:00～21:40	データ・アナリシス(2)	統計データを用いた資料の作り方、及び、AI/データ解析プロジェクトの事例について学ぶ。	
10 12/6(火) 19:00～21:40	戦略的CSR経営	サステナビリティ・SDGsや持続的発展が叫ばれている中で、新しい経営コンセプトとしてのサステナビリティを学び、具体的にどのように活用していくかを理解する。	青木 茂樹

※講師陣の詳細等は、講座のホームページをご覧ください。



受講をご検討のみなさまへ



江戸 克栄
県立広島大学大学院
経営管理研究科(HBMS)
専攻長/教授

新型コロナウイルス感染症によるライフスタイルの変化、ICTやIoTを含むDXの進展など、ビジネスを取り巻く環境は予測できないほど激変しています。新しい事業の必要性を感じている方、現在の事業において閉塞感を感じている方、経験則によるアプローチに限界を感じている方、中国地方唯一の経営系専門職大学院(MBA)のメソッドで将来に向けて「新しいビジネスの型」を探しましょう。



磯貝 日月
県立広島大学大学院
経営管理研究科(HBMS)
講師

明日のことさえ予測不可能な現代社会において、私たちはどのように未来への道を模索すべきでしょうか。組織のあり方や働き方、価値観や前提はそれぞれの時代や環境にあわせて刻々と変化します。どのような状況でも対応できるように、手探りで未知の世界に飛びこむ術として「手で考える」ことを身につけ、それぞれにとって望ましいマネジメントとはなにかについて考えていきましょう。

プロジェクト編 | 仮説検証アプローチ

日程/開催場所	取組テーマ	取組内容	講師名
1 10/1(土) 9:00～12:20 地場産センター中会議室	開講式・オリエンテーション プロジェクト編①	プログラム全体のオリエンテーションを経て、事業計画書作成を概説しゴールを示すと共に、市場環境分析を概説しポイント・要所を学修し、今後の講座の進め方に関する指針を明らかにする。	コーディネーター 江戸 克栄 磯貝 日月 HBMS修了生講師 梶原 茂 高田 禮榮 小出 隆仁 ゲストスピーカー 講師(未定) ※上記は、変更となる場合があります。
2 10/22(土) 9:00～12:20 ローズコム中会議室	プロジェクト編②	グループワークでは、知識やスキルの異なる多様なメンバーが協力し、最終的な成果物の作成に係る一連の流れを経験する。 また、早い段階から個人ワークを並行して取り組み、成果に結びつけることを目指す。 (取組テーマについては、ケース等を事前配付予定)	
3 11/5(土) 9:00～12:20 ローズコム中会議室	プロジェクト編③		
4 11/12(土) 9:00～12:20 ローズコム中会議室	プロジェクト編④	各自で課題やテーマを設定し、能動的な個人ワークを実施する。 ・グループ討議では、個人ワークの進捗をグループ内で発表し、多様なメンバーとの討議による創発を目指す。 ・個人ワークは、基本的にホームワークとなるため、各メンバーは自身の進捗を踏まえて、適宜、講師等に助言を求めるなど主体的に取り組む。	
5 11/26(土) 9:00～12:20 ローズコム中会議室	プロジェクト編⑤		
6 12/10(土) 9:00～12:20 ローズコム中会議室	プロジェクト編⑥	各自で課題やテーマを設定し、能動的な個人ワークを実施する。 ・グループ討議では、個人ワークの進捗をグループ内で発表し、多様なメンバーとの討議による創発を目指す。 ・個人ワークは、基本的にホームワークとなるため、各メンバーは自身の進捗を踏まえて、適宜、講師等に助言を求めるなど主体的に取り組む。	
7 1/7(土) 9:00～12:20 ローズコム中会議室	プロジェクト編⑦		
8 1/28(土) 9:00～15:00 ローズコム中会議室	プロジェクト編⑧		
9 2/25(土) 9:00～12:20 地場産センター中会議室	プロジェクト編⑨		
10 3/11(土) 9:00～15:00 地場産センター中会議室	プロジェクト編⑩ 成果発表会・修了式	各メンバーから発表し、質疑・講評を行う。	

※日程・内容・講師、及び会場は変更となる場合があります。プロジェクト編は、集合・対面式での実施を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、オンラインに切り替えて実施する場合があります。